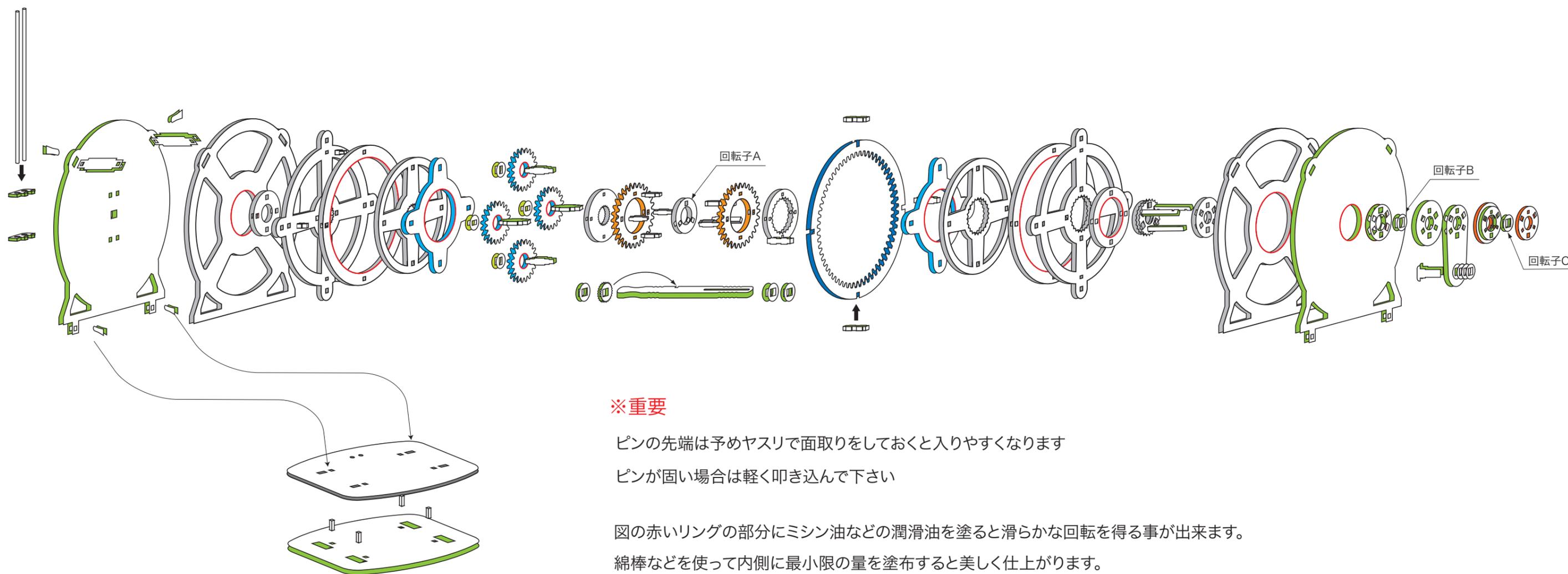
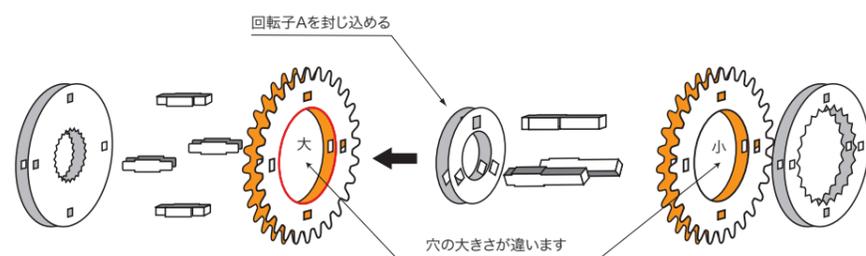


## 【遊星歯車マルチ】 パーツ全体図



太陽歯車とストッパー軸、切り替えパーツは最初に組立てておきます  
 その後は組立てて順1から順番に6まで進めて下さい

### 太陽歯車の組み立て

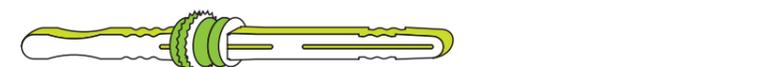
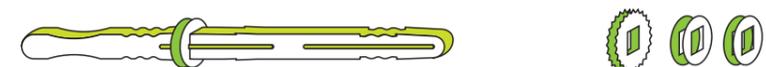
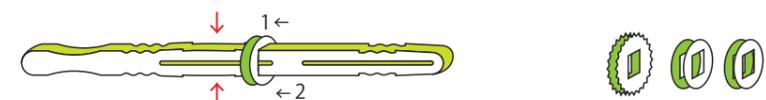


図の様に段付きピンで各パーツを固定する

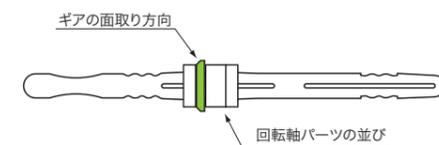


封じ込めた回転子Aは差し込んだ3本の棒と共に滑らかに回転する事を確かめて下さい

### ストッパー軸の組み立て



全てのパーツをシャフトの凹部分にパチンとはめ込むと動かなくなります

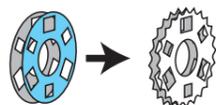


## 切り替えパーツ部の組立

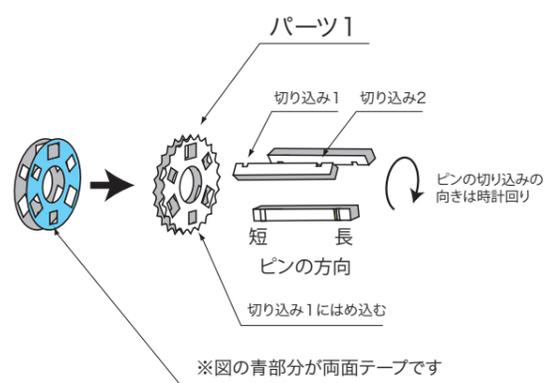
※組立て前に注意して頂きたい事



ピンの切り込み位置は左右で寸法が違います



両面テープの固定パーツと切り替えギアは最初に貼ってしまうと組立てられません  
組立て手順に添って組立てて下さい



※注 切り込みにはめ込むパーツ1は裏表逆にはめると穴が合いません

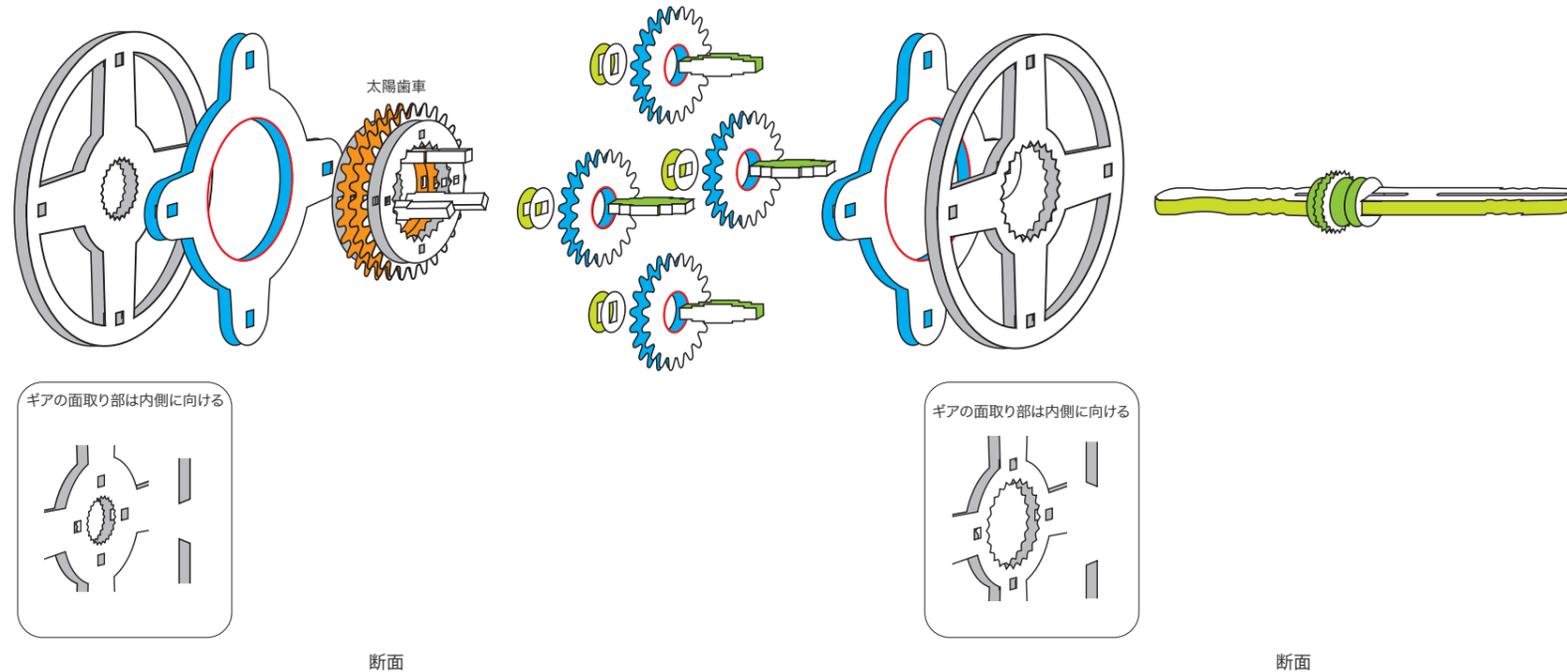
※図のパーツ1は穴をずらして空けてあります、ピンの切り込み1にはめ込むと抜けなくなります。

※重要 ピンの先端は予めヤスリで軽く面取りをしておいて下さい。

## 組立手順

- 1 角棒の切り込み位置が3ミリの側をギアの角穴(小)に差し込む
- 2 切り込み部をギアの厚みに合わせてはめ込む
- 3 はめ込んだ角棒の背側に出来た空間に仮止めクサビを差し込む
- 4 クサビを打つと角棒は固定されます
- 5 同様に他のピンもセットし、3本とも固定する
- 6 両面テープパーツの離型紙を剥ぎ取り、穴を対応するピンの頭に差し込む
- 7 テープ面を圧着し、仮止めクサビを抜き取ると切り替えパーツの完成です  
なお、完成後仮止めクサビは使いませんので廃棄して下さい

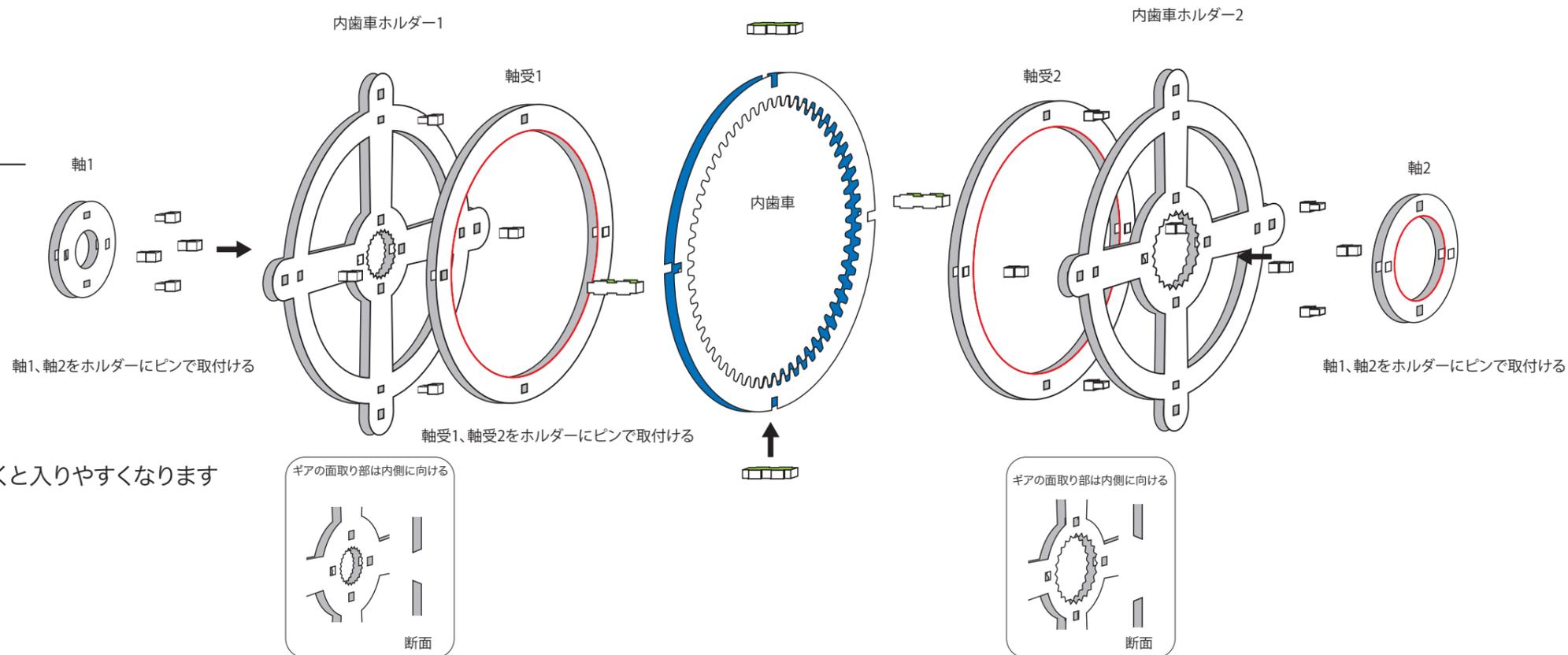
### 遊星キャリアの構成



図の赤いリングの部分にマシン油などの潤滑油を塗ると滑らかな回転を得る事が出来ます。

※特に軸受1と軸受2は摩擦係数が大きいいため必ず塗る事をお勧めします  
綿棒などを使って内側に最小限の量を塗布すると美しく仕上がります。

### 内歯車の構成



**※重要**

ピンの先端は予めヤスリで面取りをしておくとうりやすくなります  
ピンが固い場合は軽く叩き込んで下さい

# 組立て手順

1

最初に丸棒サポートを差し込む

連結パーツを差し込みクサビで固定する

軸受板

軸受板(穴径小)をセットする

2

軸1を内歯車ホルダーにピンでセットする

内歯車ホルダー

軸受

軸受を内歯車ホルダーにピンでセットする

※重要

ピンの先端は予めヤスリで面取りをしておくとうりやすくなります  
ピンが固い場合は軽く叩き込んで下さい

3

ホルダーに内歯車をセットしSTOPPER軸を差し込む

内歯車

4

遊星キャリア、太陽歯車を順にセットする

太陽歯車

5

遊星ギアは図の様にパーツをセットした後、太陽歯車に噛み合う様にセットします

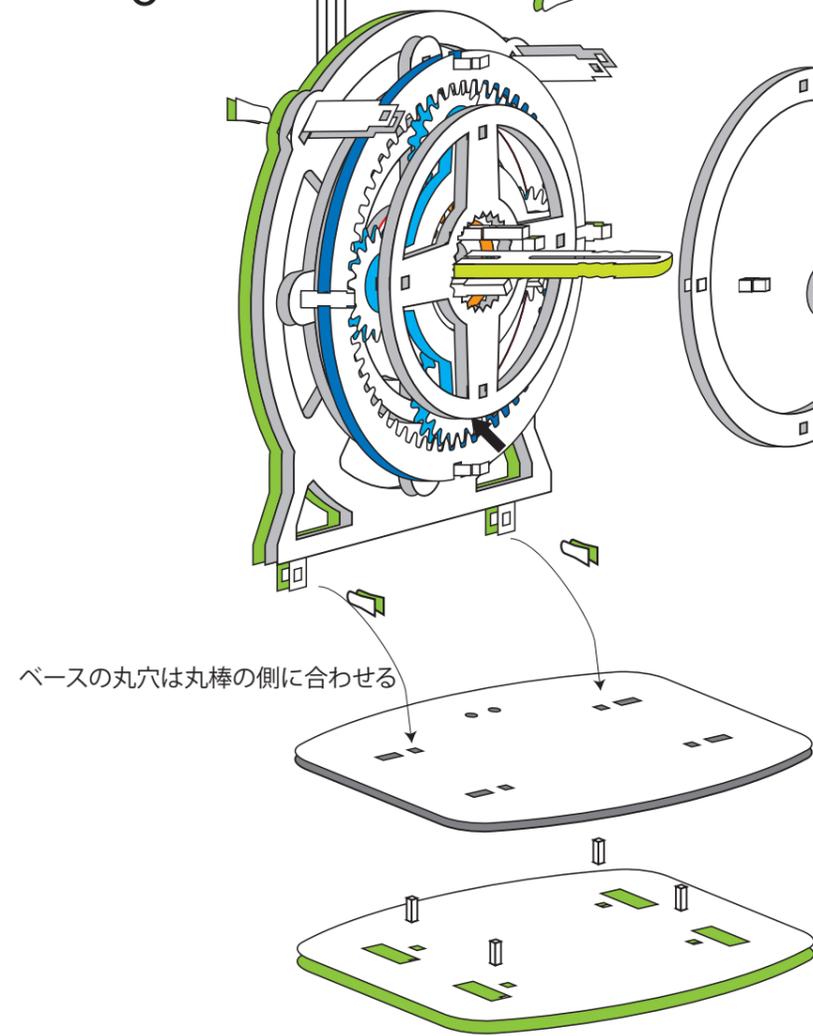
切り替えパーツ

切り替えパーツの穴に太陽歯車のピンを貫通させてセットします

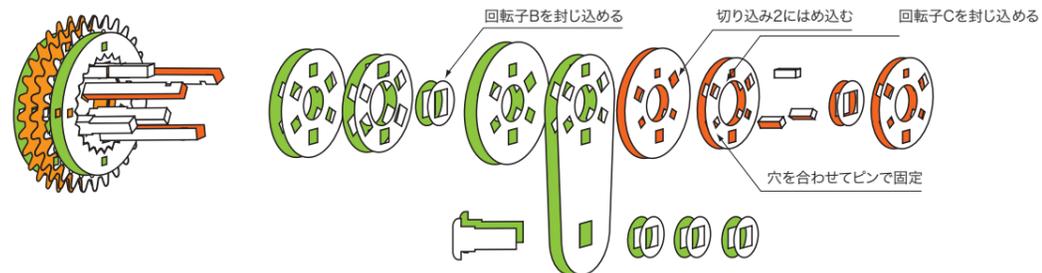
6

丸棒を差し込む

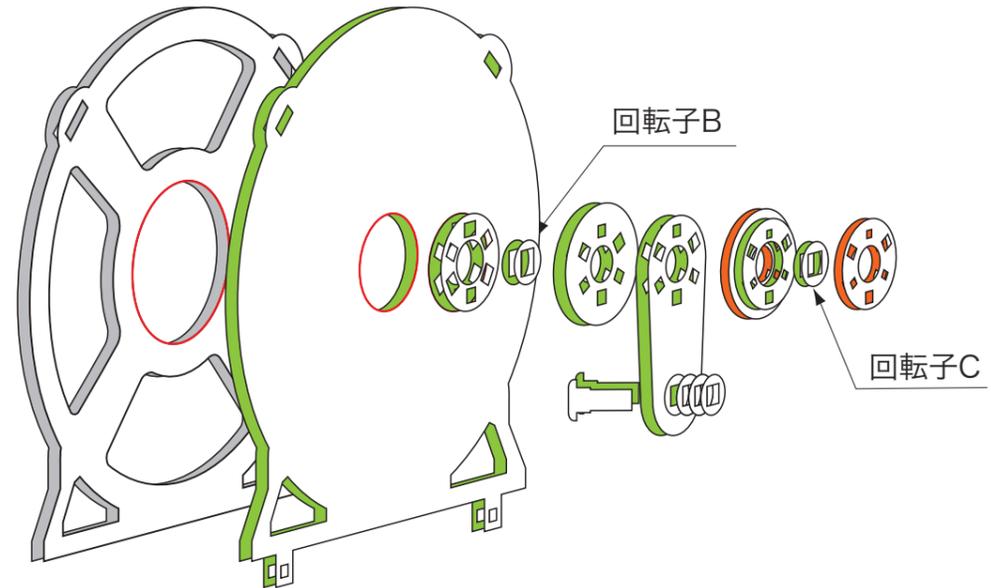
内歯車ホルダーをセットする



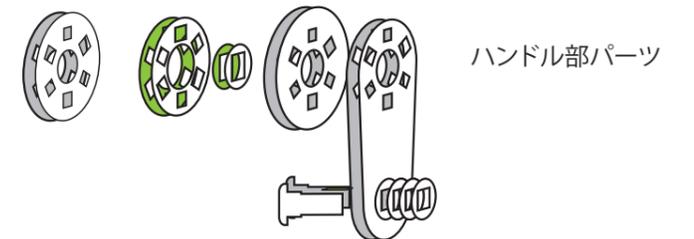
ハンドル及び切り替えつまみの構成



※図のハンドル(グリーン)と切り替えつまみ(オレンジ)のグループはそれぞれ一体化し、切り替えつまみはスライドします

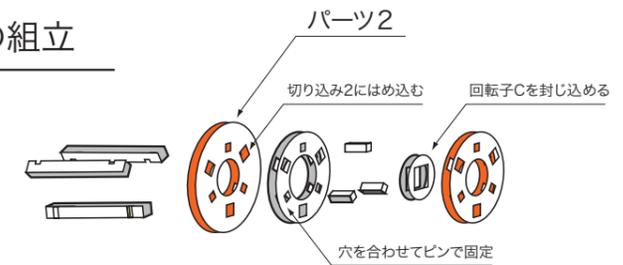


ハンドルの組立



ハンドル部パーツは太陽歯車から出る6本のピンの内、切り込みのある方を大穴に貫通させて他の3本のピンに順に差し込み固定します

つまみ部の組立



※図のパーツ2 は穴をずらして空けてあります、ピンの切り込みにはめ込むと抜けなくなります。  
 ※注 切り込みにはめ込むパーツ は裏表逆にはめると穴が合いません  
 ※つまみ部はハンドルを付けてから最後にセットして下さい。